

四国放送

活動名	四国放送 館内見学ツアー
実施期間	令和 7 年 10 月～ 11 月
実施回数	社内見学時 8 回

【実施学校】 阿南市立長生小学校、小松島市立新開小学校、海陽町立海南小学校、
美波町立伊座利小学校、上板町立松島小学校、徳島市立国府小学校、
徳島市立昭和小学校

【事業実施の成果・課題】

『ニュースができるまで』の VTR を視聴したことで、インターネット上の根拠が不確かな情報と、テレビ局が提供する裏付けのある正確な情報との違いを、児童だけでなく教員にも理解してもらうことができました。

ただし、メディア情報リテラシーをより深めるためには、VTR の視聴だけで完結させず、内容を絞った質疑応答の時間を設けることも必要だったかもしれません。実際、子どもたちはアナウンサーを前にすると舞い上がってしまい情報リテラシーに関するような踏み込んだ質問を自発的に出しにくい様子も見られました。楽しい雰囲気を保ちつつ、より深い学びにつなげるための工夫が必要だと感じました。

【事業担当者・講師の感想】

教諭からは、今回の訪問を単なる社会見学としてではなく、「情報」について授業で学んだ内容を実際の現場で確かめる“学びの延長”として捉えている様子を感じられました。子どもたちが教室で得た知識を、放送の現場を見ることでより実感を伴った理解につなげたいという思いが伝わってきて、学校としても学習効果を高める場として期待してくれているようでした。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

＜教諭の感想＞

報道の重要性が改めてわかった、授業に活かしたい。子どもたちには「報道」を知るという経験はもちろん、授業の座学と放送局での実地の体験が結び付いて、学ぶことの楽しさや魅力に気付いてもらえたと思う。

＜子どもたちの感想＞

ニュースを作るのに色々なルールがあるのに驚いた。気を付けないといけないことがいっぱいあってニュースの伝え方の難しさや大切さがよくわかった。仕事は楽しみながらも慎重さが必要とわかった。授業で習っていないこともいっぱい知れた。